特集「正しく怖がろう」の授業（高等学校 情報Ⅰ／大学 初年次・情報リテラシー）

ワークシート　偽物を見破れなくても、自分のアカウントは守れる

年　　組　　番　名前（　　）

書かないこと：パスワードそのもの、スマホの6桁、バックアップコード、メールアドレスや電話番号。
書くのは、サービスの名前と〇だけ。隣の人にも、パスワードや番号の映った画面を見せない。

① ネットの安全で、いま何が怖い？　3 つ書く（ぼんやりのままでよい）

② 自分のアカウントの棚卸し

合鍵＝「パスワードを忘れた」の再設定メールが届く先や、「〇〇でログイン」の元のアカウント

いまの入り方（分かる所に〇。分からなければ？）

使っているサービス（名前だけ）	合鍵？〇	パスワードだけ	SMS の番号	認証アプリ	パスキー	使い回している？	今日やった✓
スマホ本体（画面ロック）							
Google／Apple							
学校のアカウント							
LINE							
Instagram							
X							
TikTok							
ゲーム（　　）							

・自分で足してよい（通販・フリマ・音楽・動画など）。使っていないものは斜線で消す。
・スマホ本体の行は「顔か指と6桁以上で開くか」に〇。学校のアカウントは、学校の決まりに従う。

いちばん先に守る「合鍵」はどれ？（一つ）

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja

ワークシート　偽物を見破れなくても、自分のアカウントは守れる

年　　組　　番　名前（　　）

③ 今日やったことに✓（できなかったものは、家でやる日を書く）

- ☐ 画面ロックが「顔か指」と「6桁以上」になっているのを確かめた
- ☐ パスワードをスマホに覚えさせる設定をオンにした
- ☐ 1 つのサービスでパスキーを作った（名前：　　）
- ☐ その設定の画面に「パスキー」が出ているのを確かめた
- ☐ 【家で】合鍵の再設定用の電話番号・メールが自分のものか確かめた
- ☐ 残りを家でやる日：　　月　　日（合鍵のアカウントから順に）

設定の手順（1手ずつ）
スマホで読む

④ ①の「怖いこと」を、3 つの箱に分け直す。守れるものには、自分がやることを一言

諦めるもの	守れるもの（自分がやること）	やらなくていいこと

⑤ 友だちや家族に、今日のことを一つ伝えるなら？（一文。宿題でよい）

持ち帰り用：起きてしまったら（特集「正しく怖がろう」4 から）

漏れたと知らせが来たら、3 つだけ：そのサービスのパスワードを変える（同じものをほかで使っていたら全部）。届いたリンクからは入らない（いつものアプリかブックマークから）。本物そっくりの連絡が来る前提で待つ（リンクは開かず、電話は一度切る）。

乗っ取られたら：お金の口座は、まずその会社の公式の窓口へ。メール・LINE・SNS は公式の手順で取り戻し、電話など別の手段で、友だちや家族に「私から来たリンクは開かないで」と知らせる。一人で抱えず、保護者や先生にも。

スマホをなくしたら：探す → ロックする → 最後の手段として消す。携帯会社に連絡して回線を止める。

設定の手順（端末4つ・サービス18）：teleport.jp/dataiscity/right-fear-setup/（③の横の QR）

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスで提供されています。
出典：Data is CITY（teleport.jp/dataiscity/）
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja